

## 新刊案内



「くろねこさん しろねこさん」  
得田之久／ぶん  
和歌山静子／え



「アリのおでかけ」  
西村敏雄

イエスという経験 ----- 大貫隆  
名所・旧跡の解剖図鑑 ----- スタジオワーク  
岐阜の法則 ----- 岐阜の法則研究委員会  
江戸時代の医師修業 ----- 海原亮

凛とした大人の服 ----- 滝口浩司  
コンテンポラリー・ファインアート ----- 大森俊克  
女王 ----- 連城三紀彦  
魂の居場所を求めて ----- 白洲正子、前登志夫



## 「 感染症 」

昨年3月のギニアでの発症を発端に、西アフリカを中心に猛威を振るい続けるエボラ出血熱。今回はそうした感染症について書かれた本を紹介します。

石弘之『感染症の世界史 人類と病気の果てしない戦い』。微生物（ウイルス、細菌、寄生虫）の最新遺伝子情報や、40億年にわたる地球環境史の視点から、人類を苦しめる感染症の正体を暴きます。人類が病気と戦うように、微生物も新薬に対する耐性を獲得し、変異を繰り返しながら戦っています。最強の感染症といわれるエボラ出血熱を、人類は抑え込むことができるのでしょうか。

山本太郎『感染症と文明 共生への道』。国際保健学と熱帯感染症学が専門である著者が、人類史における文明の盛衰に感染症が果たしてきた役割をさまざまにエピソードをもとに描き出します。人類は感染症を撲滅するのではなく、共生するしかないと言及されています。

深谷忠記『殺人ウイルスを追え』。東京で発生したエボラ出血熱の感染ルートをめぐるミステリーです。発表当時はエボラ出血熱が一般にはほとんど知られていなかったという事情もあり、あまり読まれなかったようですが、昨今の流行の影響で注目が高まり、昨年再版されました。

## 3月の休館日

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)  
27日(金)、30日(月)

## 開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時  
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時  
図書館は無料でご利用いただけます。

## お知らせ

図書館などで活動している読み聞かせボランティアの皆さんによるイベントを開催します。皆さん、親子でぜひ遊びに来てください。

日時 3月22日(日) 午後1時30分～3時

場所 セラトピア土岐・和展示室

内容 大型絵本や紙芝居の読み聞かせ、パネルシアターによる「土岐の昔話」 など